

## 第24回大北スポーツ競技会 開催要項

- 1 目的 大北住民皆スポーツの立場から、明るく楽しい大北スポーツ競技会を開催し、体力の向上、スポーツの理解とマナーの高揚を図り、あわせてスポーツ人口の拡大と体力づくり運動の推進を図ることを目的とする。
- 2 主催 大北地区各市町村、大北地区各市町村教育委員会、大町市スポーツ協会、北安曇郡スポーツ協会、大北スポーツ推進委員協議会
- 3 後援 北アルプス広域連合
- 4 主管 ソフトバレーボール、卓球、ソフトテニス、ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール、ミニテニス、剣道 各協会・連盟
- 5 期日 令和7年10月5日(日)  
(雨天の場合、屋外競技については主管及び大会事務局が実施を判断する。)
- 6 場 所 開会式 8時 競技開始 9時30分 (グラウンドゴルフは競技開始 9時)
  - (1)開会式 大町市運動公園総合体育館(大アリーナ)  
※各チーム(各種目)代表者のみ出席でも構いません。  
※競技会場が離れている種目は欠席でも構いません。  
※優勝杯返還は開会式では行いません。(各会場で実施)
  - (2)競技会場 (ソフトバレーボール 競技) 大町運動公園総合体育館大アリーナ  
(卓 球 競技) 大町運動公園総合体育館小アリーナ  
(ソフトテニス 競技) 大町運動公園庭球場  
(ゲートボール 競技) 大町運動公園第一屋内運動場  
第二屋内運動場  
(マレットゴルフ 競技) 池田町アルプス広場マレットゴルフ場  
(グラウンド・ゴルフ 競技) 大町運動公園多目的芝生広場  
(ソフトボール 競技) 大町運動公園多目的広場  
大町市平運動場  
(ミニテニス 競技) 大町市西公園体育館  
(剣 道 競技) 大町市B & G体育館
- 7 参加資格 (1)大北地区居住者であること。申込は居住地(市町村)又は学校単位とする。  
(2)参加は1選手1競技に限るものとする。  
(3)年齢は、令和7年4月1日現在とする。  
(4)細部については、各競技実施細目による。  
(5)ゲートボール、マレットゴルフ、ソフトボール競技は、各競技連盟・協会の選出で参加決定するため、オープン参加はできない。
- 8 申込期限 令和7年9月16日(火)

- 9 申込先 所定の用紙(データ)によりお住まいの自治体の窓口へ申し込むこと。  
学校単位の申込は学校所在地の市町村窓口へ申し込むこと。

【各問合せ先・申込み先】

大町市教育委員会 (大会事務局)	〒398-0004 大町市常盤 5638-44 大町市総合体育館 TEL 22-8855 FAX 22-8108 Mail sports@city.omachi.nagano.jp
小谷村教育委員会	〒399-9494 小谷村大字中小谷丙 131 小谷村役場 TEL 82-2587 FAX 82-3164 Mail sport@vill.otari.lg.jp
白馬村教育委員会	〒399-9301 白馬村大字北城 2066 協和ウイング白馬 TEL 72-8770 FAX 72-8771
松川村教育委員会	〒399-8501 松川村 84-1 すずの音ホール TEL 62-2481 FAX 62-2994 Mail kouminkan@vill.matsukawa.nagano.jp
池田町教育委員会	〒399-8601 池田町大字池田 3210-4 池田町総合体育館 TEL 62-7654 FAX 62-9643

- 10 組合せ 競技の抽選は各競技主管の責任抽選とする。
- 11 表彰 競技および種目ごと、1位には優勝杯と賞状、2位から3位までには賞状を授与し表彰する。
- 12 その他 (1) 競技中の傷害は応急処置のみとする。  
(各自スポーツ傷害保険等に加入すること。)  
(2) 60歳以上の場合は医師の診断を受けたうえで参加することが望ましい。  
(3) 試合に使用するボールは参加チーム(者)が用意する。  
(但し、ゲートボール競技とソフトテニス競技は除く。)  
(4) 参加申込書に記載された氏名・性別・所属(学校名・学年)はプログラムに掲載され配布される。併せてプログラムはウェブサイトにも公開する。
- 13 競技・種目・参加単位・種別及び選手人員 (別表のとおり)

(別表) 競技・種目・参加単位・種別及び選手人員

競技種目	参加単位	種別	選手数	備考
ソフト バレーボール	各種別 市町村	フリーの部 T160の部 T220の部	1チーム 8名以内	
卓球	市町村	シングルス試合形式 小学生以下の部 中学生の部 高校生以上の部	制限なし	年齢下位の者は上位の種別に出場できる。
ソフトテニス	市町村 学校	男子の部 女子の部	制限なし	大北管内勤務者も参加を認める
ゲートボール ※オープン参加不可	大町市8チーム 各町村4チーム	小学生以上 (監督含めて9名以内)	1チーム 8名以内	出場枠に余りがある場合は、指定数を超えての出場を認める
マレットゴルフ ※オープン参加不可		20歳以上	1チーム 4名	各チーム男女混合とする
グラウンド・ ゴルフ	市町村	18歳以上 男女 (高校生は不可)	制限なし	
ミニテニス	市町村	一般混合	制限なし	
ソフトボール ※オープン参加不可	大町市4チーム 各町村1チーム ※出場チーム数により 変更の場合あり	36歳以上 ※女子は18歳以上 (高校生は不可)	1チーム 25名以内	監督・コーチが選手兼任の場合は選手登録25名に含める。
剣道	市町村	小学生団体戦 中学生団体戦 小中学生混合団体戦	1チーム3名	

# 各競技別実施細目

## I ソフトバレーボール競技

### (1) 参加単位

市町村単位で、チーム数は特に設けない。

チーム編成は市町村単位とするが、人数不足によりチーム編成ができない場合に限り、市町村を超えて2名までの補充をすることができる。

### (2) 種別

①フリーの部 ②T160の部 ③T220の部

※中高生の参加は認めるが、中高生だけの参加は認めない。

### (3) 競技規定

①2025年度日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール競技規則及び本競技会申し合せ事項による。

②ネットの高さは、2mとし、ボールはJVA制定のソフトバレーボール(ゴム製・円周78±1cm、重さ210±10g)を使用する。

③1チーム4~8名で構成し、競技中はコート内に男子2名・女子2名が存在する事。(女子4名、男子1名・女子3名でも認める。)

### (4) 競技方法

①各種別とも参加チーム数により決定する。

(予選リーグ後決勝トーナメント・全チーム総当り戦ほか)

②1セット15点のラリーポイント制で3セットマッチとする。

③14対14の時は2点差をつけるか、17点を先取したチームの勝ちとする。

④審判は、相互審判とする。(試合のないチームより出す)

### (5) 服装及びゼッケン

①服装は、競技ができるものとする。

②ユニフォームの有るチームは、ユニフォームを着用し、無いチームはゼッケンを必ず着用すること。

③監督は表示すること。

④ナンバーは、ユニフォームと異なった色で、胸部に最小限高さ10cm背部に最小限高さ15cmのものを用いる。

### (6) 参加申込み方法

参加申込書(様式別紙)を1部作成して申込むものとする。

## 2 卓球競技

- (1) 参加資格  
小学生以下の部、中学生の部（男女別、学年別）高校生以上の部とする。
- (2) 競技規定
  - ① 現行の日本卓球協会制定の硬式ボールの卓球ルール細則及び本競技会申し合せ事項による。
  - ② 使用球は、公認の40mmボールを使用するものとする。
  - ③ 硬式は1マッチ5ゲームで3ゲーム先取した方の勝ちとする。
- (3) 競技方法  
試合は個人戦（シングルス）のみとし、参加人数によりトーナメントまたはリーグ方式を取る。（組合せは実行委員会の責任抽選とする）
- (4) 服装及びゼッケン
  - ① 服装は競技ができるものとする。
  - ② ゼッケンは公認のもの、あるいは地が白色で、上段に姓、下段に所属（学校名等）を記載し、大きさはおよそ縦20cm、横30cmくらいとする。
- (5) 参加申込み方法  
参加申込書（様式別紙）を1部作成して申込むものとする。

## 3 ソフトテニス競技

- (1) 参加資格  
大北管内在住者及び大北管内通勤及び通学者とする。  
市町村を越えてのダブルスの編成を可能とする。
- (1) 競技規定
  - ① 日本ソフトテニス連盟競技規則国際ルール及び本競技会申し合せ事項による。
  - ② ラケットは、公認のものを使用し、ボールは日本ソフトテニス連盟公認ボールとする。
- (3) 競技方法  
種別のダブルストーナメント方式またはリーグ戦方式とする。
- (4) 服装  
服装については、競技ができるものとする。
- (5) 参加申込み方法  
参加申込書（様式別紙）を1部作成して申し込むこととする。
- (6) その他  
試合球については、主管団体で準備する。

## 4 ゲートボール競技

- (1) 参加資格  
小学生以上とする。
- (2) 競技規定
  - ①(公財)日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則・審判実施要領 2025 及び本競技大会申し合せ事項による。
  - ②コート大きさは、15×20mとする。
  - ③1チームは、監督1名、選手8名で構成し、監督は競技に出場できない。  
(選手のみ登録で監督不在の場合でも参加可能)
  - ④競技は相互審判制で行う。(各チーム3名以上の審判員を登録すること。)
- (3) 競技方法
  - ①リーグ戦
  - ②前半・後半と分け、1チーム4戦の勝数・得失点差により順位を決める。
  - ③組合せは、受付順として大会事務局で組み合わせを行う。
- (4) 服装
  - ① 服装は、競技ができるものとする。
  - ② 選手は、胸・背面の両面に番号を表示し、監督・主将は上腕部にその表示をする。
- (5) 用具  
競技用具は、大会事務局で用意するものを使用するものとする。ただしスティック・ゼッケン及び主将・審判の腕章は、各チーム持ち寄りとする。
- (6) 参加申込み方法  
参加申込書(様式別紙)を1部作成して申し込むこととする。  
競技者に変更があるときは、受付時間内に申し出ること。

## 5 マレットゴルフ競技

- (1) 競技規定
  - ①全日本マレットゴルフ連盟規則及び本競技会申し合せ事項による。
- (2) 競技方法
  - ①池田町アルプス広場マレットゴルフ場 36 ホール、パー144、ストロークプレーによる。
  - ②表彰については、各市町村の成績上位者3名の合計スコアにより競う。
  - ③ボールは、各自持ち寄りとする。
- (3) 服装  
服装は競技できるものとする。
- (4) 参加申込み方法  
参加申込書(様式別紙)を1部作成し申し込むこととする。
- (5) その他  
大会当日は午前8時から8時30分までに受付を済ませること。

## 6 グラウンド・ゴルフ競技

### (1) ゲーム規則

日本グラウンド・ゴルフ協会制定のルール及び本大会の申合せ事項に準用。

### (2) ゲーム方法

#### 個人戦

- ①大会のコースは、特設コース、変則24ホール・ストロークプレーにより行います。(A・B・Aコース 変則24ホール)
- ②組合せは大会本部(主管団体)で無作為に行う。
- ③同伴者は、組合せ表順の後おくり(ゲーム者‘自分’)は後の人の記録をし、最後の人は一番前の人の記録をします。
- ④打順は、ローテーション(2打以降も同様)とする。
- ⑤24ホールを連続プレーし、10分間休憩後、フォアサムを行う。
- ⑥障害物等で打てない時は、1打付加をして規定の処理をすること。
- ⑦記録方法は、個人カードによる自己申告とする。  
[ゲーム終了後同伴者とスコアの確認を行い、フルネームで署名をもらい大会本部(主管団体)へ提出すること。]

#### フォアサムゲーム

- ①本競技会のコースは、特設コース、変則16ホール・ストロークプレーにより行う。(A～Bコース 変則16ホール)
- ②二人一組(組合せは当日抽選とします)
- ③記録はフォアサムゲーム表による自己申告方式とする。  
[ゲーム終了後同伴者とスコアの確認を行うとともに、フルネームで署名をもらい大会本部(主管団体)へ提出すること。]

### (3) 服装

服装はゲームができるものとする。

### (4) 用具

必要に応じて用具の貸出しをする。

### (5) 参加申込み方法

参加申込書(様式別紙)を1部作成して申し込むこととする。

## 7 ミニテニス競技

### (1) 競技規定

- ①現行の日本ミニテニス協会制定競技規則及び本競技会申し合せ事項による。
- ②ラケットは、ミニテニス専用のもを使用し、ボールは協会公認ボールとする。

### (2) 競技方法

- ①部門別に予選リーグ及び決勝トーナメント戦またはリーグ戦で順位を決定する。
- ②組み合わせは競技主管により行う。

### (3) 参加申込み方法

参加申込書(様式別紙)を1部作成して申し込むこととする。

## 8 ソフトボール競技

### (1) 参加資格及びチーム数

チームは、令和7年4月1日現在、満36歳以上の者で構成し、大町市が4チーム、各町村からは1チームとする。ただし、参加チーム総数が8チームを下回った場合は、各市町村から補充できるものとする。

女子の参加については、18歳以上（高校生は不可）の出場を認める。

### (2) 競技規定

①2025年オフィシャルソフトボールルール及び本競技会申し合わせ事項による。

（オフィシャルルールを基本として、細部については緩和したルールで実施。）

②使用球は、日本ソフトボール協会検定3号ゴム球とする。

なお、試合球は1チーム3球用意すること。（メンバー表提出時に競技主管へ提出する。）

③バットは、検定バットでJASマーク入りとする。

④ベンチは、監督、コーチ、スコアラーが各1名で、選手は25名以内とする。ただし、監督、コーチが選手を兼ねる時は、監督、コーチを含め25名以内とする。

⑤女子選手が投手の場合は、男子と同じ位置とする。

### (3) 競技方法

①トーナメント方式とする。

②試合回数は、7イニングとする。ただし、70分を超えて新しいイニングに入らない。

③7回終了及び制限時間経過後において同点の場合は、ジャンケンにより勝敗を決定する。

ただし、決勝戦はタイブレーカー方式により決定する。（タイブレーカーは2回までとする。）

### (4) 服装及びユニホームナンバー

①ユニフォームは混合を認めるが、同一ユニホームナンバーは認めない。また、ユニホームナンバーは監督30番、主将10番、コーチ31・32番とし、監督・コーチが選手を兼ねる場合は、監督・コーチのユニホームナンバーで選手登録をする。

②金属スパイクは禁止とする。

### (5) 審判について

球審は、大町市及び各町村ソフトボール協会審判部で行うが、塁審については参加チームより出すこととし、詳細は別途連絡する。

### (6) 参加申込み方法

参加申込書様式（別紙）により、監督・主将・コーチのみがユニホームナンバーを必ず記入し、選手はユニホームナンバーを記入しないで申し込むこととする。（大会当日のメンバー表提出時にはユニホームナンバーを必ず記載して提出すること。）

## 9 剣道競技

### (1) 参加資格

大北地区居住者及び大北剣道連盟加盟団体登録の小学生・中学生とする。

### (2) 試合・審判及び試合方法

#### ① 試合

ア 小学生団体戦(監督1人、選手3人編制、性別は定めない)

イ 中学生団体戦(監督1人、選手3人編制、性別は定めない)

ウ 小中学生混合団体戦(監督1人、選手3人編制、性別は定めない)

※ア～ウの団体戦はそれぞれ重複の参加はできないものとする。

エ 先鋒から大将の3人戦で勝敗を決定する。

オ 選手2人以上で出場を認めるが、出場にあたっては、中堅を欠員とする。

カ 補将と選手の交代をする場合、交代した選手の再出場は認めない。

#### ② 出場数

各市町村チーム数制限無しとする。

#### ③ 試合方法

ア 試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則とその細則及び本大会の申し合わせ事項等により行う。

イ 試合方法は、大北剣道連盟の指定する試合方法とする。試合方法は後日示す。

ウ 申し込みチーム数により、リーグ方式またはトーナメント方式を決定する。

エ トーナメントにおいて勝者数、総本数が同じ場合は、代表者戦を行う。代表者戦は1本勝負とし、原則として試合時間は区切らず、勝負の決するまで行う。

なお、リーグ方式を採用した場合において、リーグの代表を決定する上で勝数、勝者数、総本数が同じ場合は、トーナメントと同様の方法により代表者戦を行う。

### (3) その他

① 試合の組合せは、主催者において誠意をもって行う。

② 大会中に事故が発生した場合、応急処置は行うが、その後の対応はできないので、参加前に必ずスポーツ保険等へ加入し参加する。

③ 出場選手は、赤白の目印(幅5cm×長さ70cm)を持参する。

④ 出場チームは、略図に示した様式で試合場の掲示に用いる出場順位表を作成し、受付時に提出する。

### (4) 参加申し込み方法

参加申込書(様式別紙)を1部作成し、大会事務局へ申し込むこととする。

団体戦出場選手順位表略図

←約37cm→			
団 体 名	先 鋒	中 堅	大 将
	氏 名	氏 名	氏 名
←10cm→	←9cm→	←9cm→	←9cm→

↑  
約19.5cm  
↓